

何とかしてかー

重い保険税 ～ 払える滞納

13万世帯も

日本共産党



重い国保税を何とかしてほしい」の悲鳴があがっています。物価も上がり消費税、電気代もあがり、年金は削られて生活が大変です。道内の滞納世帯は13万(15%)にもなり、短期保険証、資格証で、医療が受けにくくなっています。

短期証 留置き中止を

短期保険証は、3か月、6か月等と期限つき。しかも窓口交付が多い(79市町村)。窓口に行きづらい人も多いので、道も留置きを止め、早く届けるよう指導しています。

社会保障として国保再生を

国保会計が苦しくなったのは、国が国庫補助を45%↓38%に引下げたことで保険料の高騰を招きました。

日本共産党は、国保は相互扶助ではなく「社会保障」として再生をはかるべき、と提案しています。



一方的差押え

やめて わずかの年金や生命保険を差押えするのは、国も注意するよう指導しています。一方的な差押えでなく、丁寧な納付相談をはかります。

果毎に広域化は中止を

国保の区域を市町村から都道府県に広域化する改悪法案が国会に出されています。住民本位の運営が出来なくなる広域化は中止すべきです。

国保税の引き下げを

払える国保税に 一般会計からの繰入れを

多くの市町村では、苦しくとも一般会計から「法定外繰入れ」(平均1人8千円)をしています。「払える国保税」にするよう、国も市町村も、もっと努力すべきです。

共産党議員団と住民運動が結んで

旭川・函館・釧路・北見で国保税引き下げ

2015年度引下げ内容

旭川	1世帯	8370円
釧路	1世帯	9859円
函館	1人平均	5394円
北見	1人平均	1万16円

新年度の国税(料)は、旭川、函館、釧路、北見などで引下げられました。これは「国保をよくする会」などの市民運動が広がったこと、共産党市議団がするどい質問戦をしたことによるものです。住民の請願運動を広げ、強力な共産党議員団が、値下げの確かな力です。



あなたの支持を ～ 日本共産党へ

力を合わせ



2015年4月号外 (昭和40年8月10日第三種郵便物認可) 発行所 ほっかい新報社 〒065-0012 札幌市東区北12条東2丁目電話011(721)2138 日本共産党北海道委員会の政策を紹介します。ご意見をお寄せください。☎011-750-1500